

発表項目 (行事名)	第46回「全日本中学生水の作文コンクール(中央審査会)」の入賞者の決定について								
概要	<p>1 空知管内 全日本中学生水の作文コンクール(中央審査会) 受賞者(敬称略) 各都道府県が推薦した作品について中央審査会における審査の結果、空知管内からは次のとおり入賞者が決定されました。</p> <table border="1" data-bbox="392 551 1461 674"> <thead> <tr> <th></th> <th>作品名</th> <th>氏名</th> <th>学校名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優秀賞 (経済産業大臣賞)</td> <td>水と共に暮らす</td> <td>はがわ りこ 羽川 莉子</td> <td>砂川市立砂川中学校 2年</td> </tr> </tbody> </table> <p>※応募総数 7,516編(応募学校数228校)のうち中央審査202編 入賞数 最優秀賞1編、優秀賞9編、入選30編</p> <p>2 全日本中学生水の作文コンクール(中央審査会) 全日本中学生水の作文コンクールは、「水の週間(8月1日から7日)」の行事の一環として、昭和54年から国土交通省等が主催し毎年実施しています。 道では、このコンクールと連携して、北海道地方コンクールを毎年実施し、最優秀賞及び優秀賞の2編を全日本中学生水の作文コンクール(中央審査会)に推薦しました。</p> <p>3 表彰式 「水の日」記念行事の『水を考えるつどい』において最優秀賞及び優秀賞受賞者の表彰式が実施されます。 ・日 時 令和6年8月1日(木) 14時から ・場 所 日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル) ※表彰式及び当日の取材等に関するお問い合わせ先 国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課(小林、手島、鷹野) 直通電話番号 03-5253-8386</p>		作品名	氏名	学校名	優秀賞 (経済産業大臣賞)	水と共に暮らす	はがわ りこ 羽川 莉子	砂川市立砂川中学校 2年
	作品名	氏名	学校名						
優秀賞 (経済産業大臣賞)	水と共に暮らす	はがわ りこ 羽川 莉子	砂川市立砂川中学校 2年						
参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第46回全日本中学生水の作文コンクール入賞者一覧・・・資料1</li> <li>・入賞作文・・・資料2-1、2-2</li> <li>・「全日本中学生水の作文コンクール」実施要領・・・資料3</li> <li>・6月28日10時に発表した報道発表資料※1頁目のみ 「第46回北海道地方作文コンクール入賞者の決定について」・・・別紙参考資料</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;入賞作文の展示&gt; 中央審査で入賞した2作文を次の日程で展示します。 ・展示名 「未来につなごう!北海道の水資源。パネル展」内 ・開催日 令和6年8月6日(火) 9:00~ 8月7日(水) 16:00 ・場 所 北海道庁本庁舎1階 道政広報コーナー特設展示場B (札幌市中央区北3条西6丁目)</p> </div>								
報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記事掲載にあたっては、作文の電子データの提供も可能です。</li> </ul>								
他のクラブとの関係	<p>同時配付 同時レク</p> <p>※道政記者クラブ、上川総合振興局記者クラブ同時配付 ※国土交通省は7月25日14時発表</p>								
担当 (連絡先)	<p>空知総合振興局地域創生部地域政策課 (担当者:今中) TEL ダイヤルイン 0126-20-0030</p>								

賞名	都道府県名	作文の題名	学校名	学年	氏名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	東京都	田んぼの水に思いをはせる	新宿区立西早稲田中学校	2	秋永 橋香
優秀賞 農林水産大臣賞	徳島県	水を想い、水を守る	鳴門教育大学附属中学校	2	川原 もも香
優秀賞 経済産業大臣賞	北海道	水と共に暮らす	砂川市立砂川中学校	2	羽川 莉子
優秀賞 国土交通大臣賞	三重県	災害時協力井戸の活用	高田中学校	1	渡辺 心晴
優秀賞 環境大臣賞	静岡県	あまい水	不二聖心女子学院中学校	2	小池 翔子
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	宮崎県	「輝け 日本の天然水」	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	3	崎田 莉央
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	ベトナム	水道大国ニッポン	ホーチミン日本人学校	3	中田 風咲
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	香川県	おばあちゃんとの旅	高松市立国分寺中学校	3	山下 花音
優秀賞 シャワーズ賞	徳島県	未来へ繋ぐ水源	鳴門教育大学附属中学校	2	柳本 紗那
優秀賞 中央審査会特別賞	宮崎県	「地域をつなぐ水」	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	1	林 はる
入選(30編)	北海道	水と命	下川町立下川中学校	1	三浦 かりん
	福島県	未来のために水と向き合う	葛尾村立葛尾中学校	3	松本 晴樹
	福島県	ふるさとの水を思う	須賀川市立第三中学校	3	角田 紗羅
	神奈川県	良質な水のために	川崎市立西生田中学校	3	加藤 孝祐
	新潟県	水と生きる社会	十日町市立中条中学校	2	玉田 佳暖
	新潟県	水が与えてくれる幸せ	新発田市立佐々木中学校	2	前田 七海
	新潟県	水の惑星の真の姿	新発田市立佐々木中学校	2	江端 愛莉
	石川県	島国、日本。水は循環する。	石川県立金沢錦丘中学校	3	西 凌成
	静岡県	水と人と食物	不二聖心女子学院中学校	1	名倉 和紗
	静岡県	恵みの雨	浜松市立笠井中学校	2	二村 陽日
	静岡県	エメラルドグリーンに魅せられて	常葉大学附属常葉中学校	2	西ヶ谷 あかり
	京都府	私の来世	京都先端科学大学附属中学校	2	徳田 葵
	京都府	籍水利資人工	京都先端科学大学附属中学校	3	江部 花音
	大阪府	水問題を解決するアプリ	大阪府立水都国際中学校	1	岡野 朱里
	大阪府	水質と生き物と私たち	大阪府立水都国際中学校	2	須摩淵 心
	大阪府	「水の都」を未来に残すために	大阪府立水都国際中学校	1	内海 はなえ
	兵庫県	織物の町と呼ばれる所以	兵庫教育大学附属中学校	3	片岡 咲萌
	和歌山県	僕の大好きな水辺の町	田辺市立大塔中学校	2	田中 伸乃丞
	鳥取県	水と共に生きるために	鳥取市立桜ヶ丘中学校	2	高橋 彩夏
	香川県	水について考える	さぬき市立さぬき南中学校	2	西尾 菜奈
	福岡県	石けんでつなぐ水	福津市立福岡東中学校	3	渡口 紗衣
	長崎県	水は生き物だ	長崎大学教育学部附属中学校	3	小嶺 桃佳
	熊本県	未来を支える地産地消	八代市立第八中学校	3	稲田 侑子
	熊本県	じまんの水	八代市立第八中学校	1	田代 優羽
	大分県	命を育む水	大分市立竹中中学校	1	後藤 優奈
	宮崎県	祖父が作った焼酎	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	2	外山 杏実
	沖縄県	世界中の人がきれいな水と出会うために	宮古島市立城東中学校	2	下地 杏梨
	沖縄県	水は「当たり前」ではない	宮古島市立城東中学校	2	小山 蒼介
	沖縄県	よく耳にするあの放送	伊是名村立伊是名中学校	3	諸見 利音
	オランダ	水道と感情	アムステルダム日本人学校	3	塚本 伊織

## 水と共に暮らす

砂川市立砂川中学校 二年 羽川 莉子

私が暮らす砂川市。「砂川」の名前の由来は、アイヌ語の「オタ・ウシ・ナイ」からだという。「オタ」が「砂」、「ウシ」が「多い」、「ナイ」が「川」。そこから「砂川」と名付けられた。名前の通り、砂川は川と深い繋がりがある。

砂川は、石狩川とその支流である空知川が合流する位置にある。明治時代からこの河川を利用してきた。木材の流送や砂利の採取。水田が開かれ、様々な工業も盛んになっていった。やがて人口が増えて砂川市となり、私は今、この町で暮らしている。

私が登校する通学路に橋があり、その下に川が流れている。目を向けると、レジ袋のゴミやペットボトルなどが、無造作に捨てられていた。最初は、嫌だなあと思った程度だった。でも、ゴミの海洋汚染やマイクロプラスチック問題を知ってからは、真剣に受け止めるようになった。人がポイ捨てするゴミが、水を汚す大きな問題を生み出しているのだ。

水を汚すのは、私たちの水への関心が薄いせいではないだろうか。

人間にとって、なくてはならない水。水は、限りある貴重なものである。この日本でも、水不足や水質汚染は現実のものとなっている。そうした環境の中でも、水道から透明なおいしい水が出てくるのは、その仕事に携わっている人たちの努力の賜だ。下水道や河川を管理するのも、全て人の手によるものである。その人たちに水のことを全て任せるだけでは、大切な水は守りきれない。水を使う私たち一人ひとりが、水を守るために行動を起こすべきなのだ。

川と共に暮らしを築いてきた砂川。先人たちの時代から計り知れない苦勞と努力を重ね、水の恩恵を受けてきた。水道事業を始め、それは現在も続いている。

石狩川は大きな河川であるため、大雨により川が氾濫し、大きな被害を受けてきた。その被害を防ぐために、八年をかけて砂川に大規模な遊水地を完成させた。遊水地には、大雨が降ったときに石狩川の水を一時的に貯留することで、洪水被害を防ぐ役割がある。そのおかげで、私たちは安心して暮らせているのだ。

砂川の火力発電所では、石狩川の水を利用している。水を加熱して蒸気にし、タービンを回転させて、私たちの暮らしに必要な電力を生み出している。使用済みの温排水は、冬場は流雪溝で歩道の雪を解かすために再利用されている。また、新しくできた化粧品の工場も、工場排水を浄化して、トイレの水として再利用している。しかもその水を再び浄化したあと、池に貯めて水に含まれる余分な養分を微生物や植物に吸収させて、よりきれいな水にしてから石狩川へと流しているのだ。

地域の水を守ってきた苦勞の歴史、今も続く水を守るための取組。砂川で暮らす私たち一人ひとりが、しっかりとその思いに応えるべきだと思う。私たちこそが、水の恩恵を直接受けているのだから、水を守るための取組を行っていくことが大切なのだ。

私も、水の出しっぱなしや油や洗剤の排水に気を遣うようになった。ゴミのポイ捨ても絶対にしない。私たちの手で、こうした小さな取組から始めていくことが、水を守ることに繋がっていくのだと思う。中学校でも、地域の清掃活動を行っている。私も参加したとき、水への影響を考えながら、少しでも環境がよくなればと思って、ゴミを拾った。

先日、通学路の川面に鴨がいた。自然豊かな光景に微笑ましく感じた。砂川の遊水地にも、毎年、たくさんの渡り鳥がやってくる。豊かな水が育む豊かな暮らしや自然。水と共に私たちは暮らしている。これからも、水の恩恵に感謝し、水を大切に守りながら、この砂川で暮らしていきたい。

## 水と命

下川町立下川中学校 一年 三浦 かりん

私の母は少し変わっている。「広い世界を知るため」と言いながら、私と妹の学校を半年間お休みにしてメキシコとカナダに三人で滞在している。基本的に、朝、勉強を終わらせて、午後は美術館や図書館、遺跡など様々な場所に連れて行ってもらっている。メキシコシティでは移動の足であるバスがよく止まる。その多くはデモで道が封鎖されるためだ。その日は一時間歩いて美術館まで行く羽目になった。

メキシコは、デモが多い国で住環境の改善や女性の地位向上など様々なデモを見かけた。ニュースで見たところその日のデモはキレイな水を求めるものだった。デモの垂れ幕はAgua y la vida。「水と命」。

メキシコは、そもそも水道水を飲むことができない。水質が良くないらしい。シャワーや歯磨きくらいなら問題ないが、料理や飲み水には使えない。浄水器を通して飲むか、コンビニで十リットルの水を買って、部屋まで運んで使わなければならない。しかも、暑く乾燥した国なので日本にいた頃よりもずっと喉が渇きやすい。それなのに、キレイな水を求めるデモとはどういうことか？

調べてみると、メキシコでは数年前から水不足が深刻で、断水により週に二～三回しか水道から水が出ない地域もあるそうだ。しかも断水は、いつ終わるか分からず、何日もシャワーを浴びられないことすらある。水を使うメキシコ伝統の祭も中止に追い込まれた。大きなタンクを買う余裕のある住民は、水売る給水トラックから普段の何倍ものお金を払って水を買う。

しかし、こんなに水がないと騒いでいるのにコンビニには数え切れない種類の砂糖入りジュースが並んでいる。この話をメキシコ人にすると意外なことがわかった。

メキシコの貧しい地域では、清涼飲料水の工場を誘致しその条件として工場に優先的に水を供給することを約束した。当時はここまで水が不足していなかったが環境破壊と異常気象が続き、十分な量の雨が降らなくなってしまったのだ。

人々の日常水が供給されないにも関わらず、清涼飲料水は簡単に安価で手に入るため人々は水の代わりに砂糖入りジュースを飲む。メキシコ人は一人一日約二リットルの清涼飲料水を飲む。貧しい地域に工場を建て豊かにしようとした結果、雇用が生まれ経済は潤ったが、住民の生活が水不足になってしまった。

レストランでは、お水が出てこないのでも飲み物を頼む。私と妹は普段日本ではあまり頼まない砂糖入りジュースを買ってもらい、大喜びだった。しかしメキシコでは、幼い時から砂糖入りジュースを飲むので、糖尿病や肥満などが大きな社会問題となっている。

これを知ってから私達のような旅人が大事な水を無駄にできないと思い、いつもよりも水を大事に使っている。元々我が家の水の使用量はひとり暮らしと同じくらいなので、これ以上節水するのは難しいが、シャワーの水量を減らして頑張った。

「世界中の人がキレイな水を飲むためにはどうすれば良いと思う？」そう母は問いかける。私にできること？メキシコに住んでいないのにできることはあるのか？よく考えると、メキシコの水不足は環境破壊が原因だと言われている。これは国境に関係なく世界全体が関わっている問題だ。

私は、日本では月一回ゴミ拾いをしている。それは、自分達の街をキレイにするためだ。私は、今いる場所でもゴミ拾いをすることにした。なぜなら、私は地球という大きな惑星をみんなでシェアしているからだ。小さな活動だが、世界中の人がキレイな水を飲めるように、今日も私は自分のできることをやる。

## 「全日本中学生水の作文コンクール」実施要領

平成13年1月18日

13国水策第279号

## 1 目的

「水の日」及び「水の週間」の行事の一環として、次代を担う中学生を対象とした作文コンクールを実施することにより、広く水に対する関心を高め、その理解を深めることを目的とする。

## 2 実施主体等

- (1)主 催 水循環政策本部、国土交通省及び都道府県
- (2)後 援 関係省及び関係団体の後援を得ることができる。

## 3 実施内容

- (1)名 称 全日本中学生水の作文コンクール
- (2)対 象 中学生（中学生と同じ学齢の者を含む。）
- (3)課 題 水について考える（題名は自由）
- (4)審 査 審査は、地方審査及び中央審査とする。
  - ア 地方審査は、各都道府県において定めるところによる。
  - イ 中央審査は、国土交通省に置かれる中央審査会において行う。
  - ウ 中央審査会に関しては、国土交通省水管理・国土保全局水資源部長が定めるところによる。
- (5)賞及び副賞
  - ア 最優秀賞は、1編とし内閣総理大臣賞とする。  
賞状に加え副賞を授与することができる。
  - イ 優秀賞は、8編を基本とし農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、全日本中学校長会会長賞、水の週間実行委員会会長賞、独立行政法人水資源機構理事長賞、シャワーズ賞とする。なお、必要に応じて中央審査会特別賞を設けることができる。  
賞状に加え副賞を授与することができる。
  - ウ 入選は、ア及びイ以外の作文で30編程度とする。  
賞状に加え副賞を授与することができる。
  - エ 佳作は、中央審査へ送付された作文のうち、ア、イ及びウを除く作文とする。  
記念品を授与することができる。
- (6)入賞発表及び賞状等の授与
  - ア 入賞発表は、都道府県を通じ入賞者へ通知する。ただし、外国に居住する者につ

いては、国土交通省水管理・国土保全局水資源部から所属学校を通じ入賞者へ通知する。

イ 最優秀賞及び優秀賞の受賞者は、水循環政策本部、国土交通省、東京都及び水の週間実行委員会が主催して行う「水の日」の行事に招待し、賞状及び副賞を授与する。ただし、外国に居住する者については、賞状及び副賞を送付してこれに代える。

ウ 入選受賞者へは、都道府県又は国土交通省水管理・国土保全局水資源部から賞状及び副賞を送付する。

エ 佳作受賞者へは、都道府県又は国土交通省水管理・国土保全局水資源部から記念品を送付する。

(7)一日事務所長体験 最優秀賞及び優秀賞受賞者のうち、希望者については、在住地域の地方整備局等又は水資源機構の現地事務所等において「一日事務所長」の体験をすることができる。

(8)作文集 国土交通省で作文集を作成し、水循環政策本部及び国土交通省水管理・国土保全局水資源部のホームページにて公開する。

(9)著作権等

ア 応募作文は自作の未発表のものに限る。なお、生成 AI による生成物は認められない。

イ 入賞作文の使用権は、主催者に帰属する。

ウ 応募作文の返却は行わない。

#### 4 その他

その他、このコンクールの実施に関して必要な事項は、別に国土交通省水管理・国土保全局水資源部長が定めることができる。

附 則

この要領は、平成 23 年 11 月 9 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 26 年 2 月 4 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 26 年 7 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 27 年 2 月 23 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 27 年 7 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 3 年 12 月 6 日から施行する。

附 則

この要領は、令和5年10月16日から施行する。

発表項目 (行事名)	第46回「全日本中学生水の作文・北海道地方コンクール」の入賞者の決定について												
概要	<p>1 空知管内コンクール受賞者等 (敬称略) 応募総数 141 編を審査の結果、次のとおり決定しました。</p> <table border="1" data-bbox="432 544 1505 763"> <thead> <tr> <th></th> <th>作品名</th> <th>氏名</th> <th>学校名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優秀賞</td> <td>水と共に暮らす</td> <td>はがわ りこ 羽川 莉子</td> <td>砂川市立砂川中学校 2年</td> </tr> <tr> <td>学校賞</td> <td colspan="3">砂川市立砂川中学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 表彰について 「北海道知事」名で賞状及び副賞を贈呈します。 個人賞(最優秀賞、優秀賞及び入選)は、所属中学校を通して本人に伝達することとしております。 伝達行事の実施等は、学校にお問い合わせください。 ※個人賞及び学校賞の賞状及び副賞は本日、総合政策部計画局土地水対策課から各中学校あて発送。</p> <p>3 中央審査について 最優秀賞および優秀賞の2編は、全日本中学生水の作文コンクール中央審査の対象として国土交通省に推薦しています。 中央審査において受賞した際は、改めて、受賞内容等を発表します。</p>		作品名	氏名	学校名	優秀賞	水と共に暮らす	はがわ りこ 羽川 莉子	砂川市立砂川中学校 2年	学校賞	砂川市立砂川中学校		
	作品名	氏名	学校名										
優秀賞	水と共に暮らす	はがわ りこ 羽川 莉子	砂川市立砂川中学校 2年										
学校賞	砂川市立砂川中学校												
参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入賞者一覧・・・・・・・・・・資料1</li> <li>・最優秀賞および優秀賞作品・・・・資料2</li> <li>・北海道地方コンクールの概要・・・・資料3</li> </ul>												
報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年に1度開催される全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議(GEWEX)が初めて札幌で開催されます。そのプレイベントとして開催する市民講座等で作文展示を行います 詳細は資料3をご覧ください。</li> <li>・全文掲載の場合、作文の電子データの提供も可能です。</li> </ul>												
他のクラブとの関係	<table border="1" data-bbox="363 1883 1524 2000"> <tr> <td style="border: none;">同時配付 同時レク</td> <td style="border: none;">※道政記者クラブ、上川総合振興局記者クラブ、オホーツク総合振興局記者クラブ</td> </tr> </table>	同時配付 同時レク	※道政記者クラブ、上川総合振興局記者クラブ、オホーツク総合振興局記者クラブ										
同時配付 同時レク	※道政記者クラブ、上川総合振興局記者クラブ、オホーツク総合振興局記者クラブ												
担当 (連絡先)	空知総合振興局地域創生部地域政策課 (担当者: 今中) TEL ダイヤルイン 0126-20-0030												